



2019 JUNE / Vol.8

メディア企業の強みを活かした 多様なCSR活動を展開



《 CSRスローガン 》

つなげる笑顔 つながる心
メディアの力でできること  無限大

フジ・メディア・ホールディングスは多様なメディアの集合体です。

各社業態は異なりますが、共通する思いは

「創造する力」を通じて人と人をつなぎ 笑顔をつくること。

社会の一員としてどんな社会課題の解決に結びつけられるかを常に考え、行動し続けます。



- 1 「東北・みやぎ復興マラソン」にサザエさんが登場
- 2 「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」植樹した桜が開花
- 3 「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」植樹の様子
- 4 ニッポン放送「ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」
- 5 被災地で食育出前授業「ハロー!どっこん」
- 6 「こども笑顔プロジェクト」テレビ美術の力で被災地に笑顔を
- 7 8年3回実施している合同清掃活動

各社メディア企業の強みを活かした多様なCSR活動を展開



SDGs*をテーマにした初の地上波レギュラー番組

『フューチャーランナーズ～17の未来～』を放送

テレビの強みである「発信力」と「クリエイティブ能力」を活かして、持続可能な開発目標SDGsをテーマにしたミニ番組『フューチャーランナーズ』を制作・放送しています。課題解決に向けて熱心に取り組む人々を紹介することで、SDGsを身近に感じてもらうとともに、多様な活動が認知されパートナーシップを生むきっかけになればという思いで企画しました。



※SDGs

(Sustainable Development Goals)
持続可能な開発目標は、貧困、環境、人権など地球規模の様々な課題を解決するための17の目標のことで、2015年に国連で採択されたもので2030年までの解決を目指しています。

フジテレビ地上波 (関東ローカル)

毎週水曜 22:54~23:00 放送中

・公式ホームページですべての放送を配信 <https://www.fujitv.co.jp/futurerunners/>

BSフジ (全国)

毎週土曜 21:55~22:00 放送中

2018年12月

第2回「ジャパンSDGsアワード」パートナーシップ賞受賞、総理官邸で安倍総理より表彰



2018年11月

国連本部での「世界テレビ・デー」のイベントで当番組を紹介



伝える、変える

SDGs

— Transforming our World —

フジテレビは、2018年12月、SDGメディア・コンパクト（世界のメディアにSDGs達成のための活動を促すことを目的とした国連による協力推進の枠組み）に署名し、SDGsの課題解決に向け、メディアの発信力を活かし現状を「伝える」ことで、課題について知ってもらい、世界を「変える」きっかけづくりに努めています。

環境ドキュメンタリー『環境クライシス』を継続放送

世界で急速に進む気候変動により生活環境が激変する中で、苦しくてもたくましく生きる現地の子どもたちの姿をありのままに描写したドキュメンタリー番組『環境クライシス』。2017年8月に放送した第1弾に続き、2018年度も第2弾、第3弾を放送しました。また『環境クライシス2』は、2018年12月にポーランドのカトヴィツェで開催されたCOP24のジャパン・パビリオンで上映されました。



『環境クライシス2～凍てつく大地の環境難民～』

2018年5月26日 15:30~16:30放送

『環境クライシス3～水没するアジア巨大都市の環境難民～』

2019年3月23日 15:30~16:30放送

AM RADIO 1242 ニッポン放送

ニッポン放送報道スペシャル『My Dream』

平成30年 日本民間放送連盟賞ラジオ グランプリ受賞

平成30年度 文化庁芸術祭 ラジオ部門ドキュメンタリーの部 大賞受賞



東日本大震災の取材を進める中で出会った視覚障害のある小椋汐里さんを長期取材したドキュメンタリー番組。彼女の中学1年当時から今までを紹介しつつ、大学関係者や仕事を持つ視覚障害者、彼らを支える人々を丁寧に取材。障害を抱えながら夢を描く女子大生の姿を追いながら、視覚障害者への理解や意識をより深めました。[2018年5月27日 25:30~26:30放送]

フジ・メディア・ホールディングス各社で協力

株式会社 デイノス・セシール

子どもたちが誇れる桜の名所になるように…

「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」

地震や津波、さらに放射能被害を受けた福島県で、「30年後に子どもたちが誇れる桜並木を」との思いからスタートした「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」に、フジ・メディア・ホールディングス (FMH) 各社は2013年度から協賛しています。2018年度はデイノス・セシールの顧客や、FMH各社などから合わせて桜153本分の寄付をし、これまでの植樹本数は1,175本になりました。



西日本豪雨の被災地復興支援「サザエさん募金」他を実施

フジネットワーク (FNSフジテレビ系列局) では、7月に発生した西日本豪雨の被災地復興支援のため「サザエさん募金」を実施し、フジ・メディア・ホールディングス各社の協力を得て、支援を募りました。

募金総額

2億 1,394万 8,254円

(2018年7月9日~8月31日)

日本赤十字社へ義援金として寄付しました。



©長谷川町子美術館

ニッポン放送

岡山エリアにラジオ200台を寄贈

デイノス・セシール

呉市・倉敷市へ衣類4,800枚を寄贈した他、お客様参加コースマーケティングによる寄付を実施

仙台放送 BSフジ フジテレビジョン

「東北・みやぎ復興マラソン2018」

2017年から始まった仙台放送主催の「東北・みやぎ復興マラソン」は復興への願いを込めた大会です。東日本大震災の浸水エリアがマラソンコースとなっていて、被災地の今を全国に発信しています。

2018年も、全国から約1万5,000人のランナーが集結、被災地の復興をマラソンを通じてアピールしました。この模様は仙台放送とBSフジで生中継しました。[2018年10月13日・14日開催]

東北・みやぎ復興マラソン2018



フジ・メディア・ホールディングス各社で協力

「都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト」に参加

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルを使用済みの小型家電から製作するプロジェクトに参加。フジ・メディア・ホールディングス各社に呼びかけをし、不用になった携帯電話・デジカメなどの小型家電、放送関係機材などを本プロジェクトに寄付しました。

TOKYO 2020 都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト

メダルプロジェクトへ寄付した総重量

12t 896kg (2019年3月末終了)



ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

ラジオ・チャリティ・ミュージックソンは、ニッポン放送が1975年から行っている視覚障害者のためのチャリティ活動です。毎年クリスマス・イヴからクリスマスにかけての24時間の特別番組を中心に、ラジオを通じて募金を呼びかけるもので、今回が44回目。寄せられた募金は、目の不自由な方が安心して街を歩くのに役立つ「音の出る信号機」の設置や、本を音声朗読した「声の図書」「立体コピー機」など多数の視覚障害者用教育機器などに使われます。



FMH各社が共通のCSR活動としてこのイベントのお手伝いをしています。今回もグループ内の14社から合わせて26人が街頭募金などに協力しました。

実施日 2018年12月24日正午～25日正午
パーソナリティ Kis-My-Ft2 募金受付期間 2018年11月1日～2019年1月31日

最終募金額 **8,815万8,161円**
これまでの募金総額 **45億8,147万8,178円**

これまでに**3,131**基の「音の出る信号機」が設置されました。



FNSチャリティキャンペーン

FNSチャリティキャンペーンは、世界の子どもたちの笑顔のために行っているチャリティ活動です。フジテレビ系列各社およびBSフジが放送などを通じて日本ユニセフ協会と連携し、45年にわたって実施しています。これまでの募金総額は約43億円。2018年度はバングラデシュで暮らすロヒンギャ難民を支援しました。

2019年度の支援国 ウガンダ共和国

ウガンダは東アフリカに位置する赤道直下の内陸国。18歳未満の人口の割合が世界で2番目に高い国で、総人口の半分以上が子どもです。国民の3人に1人以上が国際貧困ライン以下(1日1.9ドル以下)で生活しています。またエイズが原因で親を亡くした子どもは56万人以上にも及び、そうした子どもたちが貧困に陥り家計を担う状況に陥るケースがしばしばみられます。



放送実績

- フジテレビ『とくダネ!』内で山中章子アナによる報告
2018年5月10日・11日放送
- BSフジ 2018年8月25日・26日・9月1日放送
- CS TWO/NEXT
2018年10月4日～2019年1月23日の間13回放送



2018年度の最終寄付総額

8,454万3,302円

集まった募金は公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、現地の子どもたちの支援のために活用されます。

フジサンケイグループ 顕彰制度を通じて社会に貢献

高松宮殿下記念世界文化賞



「高松宮殿下記念世界文化賞」は、公益財団法人日本美術協会(総裁・常陸宮殿下)により1988年に創設された、全世界の芸術家を対象にした顕彰制度です。賞は絵画、彫刻、建築、音楽、演劇・映像の5部門で、2018年10月に第30回の授賞式が行われました。これまでの受賞者は30ヶ国・154人となり、世界の文化芸術の普及・向上に寄与しています。



©日本美術協会/産経新聞

地球環境大賞



「地球環境大賞」は、フジサンケイグループが「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、世界自然保護基金(WWF) ジャパン(名誉総裁・秋篠宮殿下)の特別協力を得て、1992年に創設した産業界を対象とする顕彰制度です。2019年4月に第28回の贈賞式が行われ、今では日本を代表する環境顕彰制度として広く社会に定着しています。

